

## 成人看護方法論 II Adult Nursing II

担当教員	松本智里、今方裕子、瀧澤理穂				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	成人期の特徴、健康機能障害、機能障害のアセスメント、看護援助方法				
学習目的・目標	<p>&lt;目的&gt; 成人期における人間の健康機能障害をアセスメントし、看護上の問題を確定したうえで看護実践の基本となる実践的思考プロセスを学修する。</p> <p>&lt;目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>成人期に生じる栄養・代謝、腎、運動機能障害をもつ患者の健康障害の原因・要因について述べることができる。</li> <li>成人期に生じる栄養・代謝、腎、運動機能障害をもつ患者の日常生活における影響について述べることができます。</li> <li>事例を通して、成人期に生じる栄養・代謝、腎、運動機能障害をもつ患者のアセスメントの視点について述べることができます。</li> <li>各機能障害における具体的な援助の方法について述べることができます。</li> </ol>				

## 授業計画・内容

回	内容	担当
事前準備	※各機能に関連する解剖・生理学、疾病障害論について復習の上、受講する。 ※各機能障害に関する事前課題が提示されるので、それを実施の上、受講する。	
1-2	・栄養・代謝機能に障害（肝機能障害、糖尿病）をもつ患者の理解と援助方法	今方 瀧澤
3-6	・腎機能に障害をもつ患者のアセスメント ・腎機能に障害をもつ患者の理解と援助方法	松本
7-8	・運動機能に障害をもつ患者のアセスメント ・運動機能に障害をもつ患者の理解と援助方法	松本
教科書	疾病・障害論で使用したテキスト 系統看護学講座 専門分野II 成人看護学（5）消化器、（6）内分泌・代謝、（8）腎・泌尿器、（10）運動器	
参考図書等	疾病・障害論で使用した教科書及び資料 看護学大辞典第6版（電子版）メジカルフレンド社	
評価指標	・講義の2／3以上の出席がなければ、試験は受験できず評価の対象にはならない。 ・授業時間内に指示されるアセスメントレポート20%、および最終筆記試験80%の合計で評価する。	
関連科目	成人看護学概論、成人看護方法論演習I・II、成人看護学実習A・B、解剖生理学、解剖生理学演習、代謝と栄養、疾病・障害論II A、疾病・障害論II B、疾病・障害論II C等、	
教員から学生へのメッセージ	成人看護学で学ぶ範囲は広範囲です。疾病障害論等で学んだことを想起・振り返りながら学習してください。 解剖や生理、疾病のことを理解して看護を学ぶのとそうでないのとでは、理解の度合いが各段に違います。暗記をするのではなく、看護の根柢となる事柄を理解しながら学習すると、知識が定着して、よりおもしろくなると思います。 一緒にがんばりましょう！	